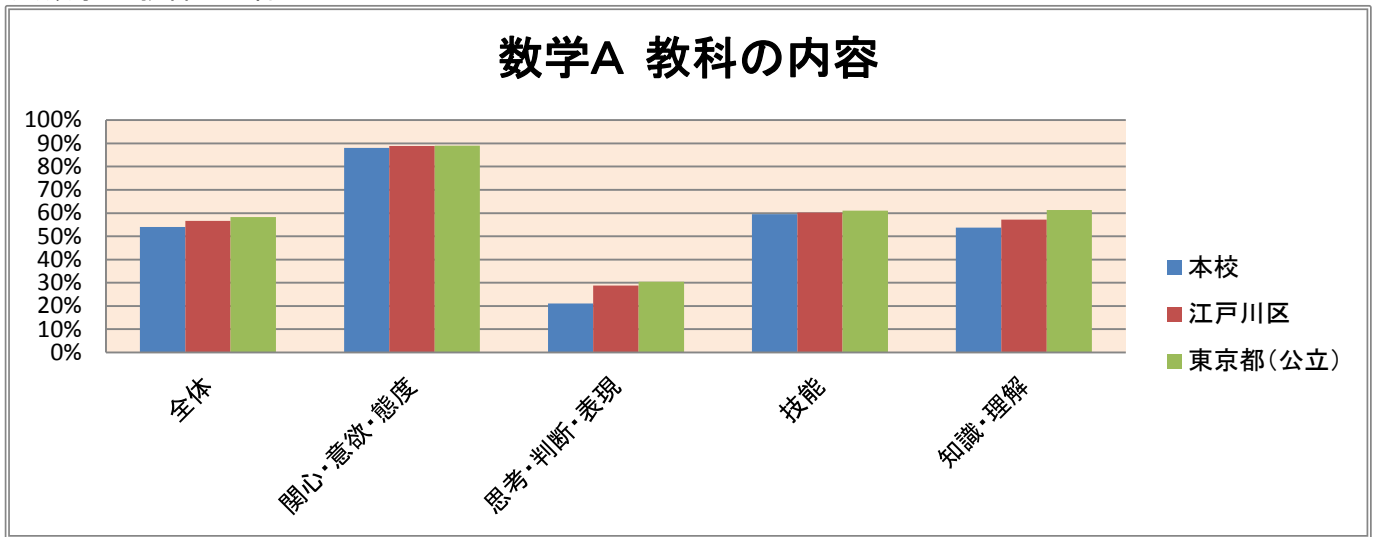


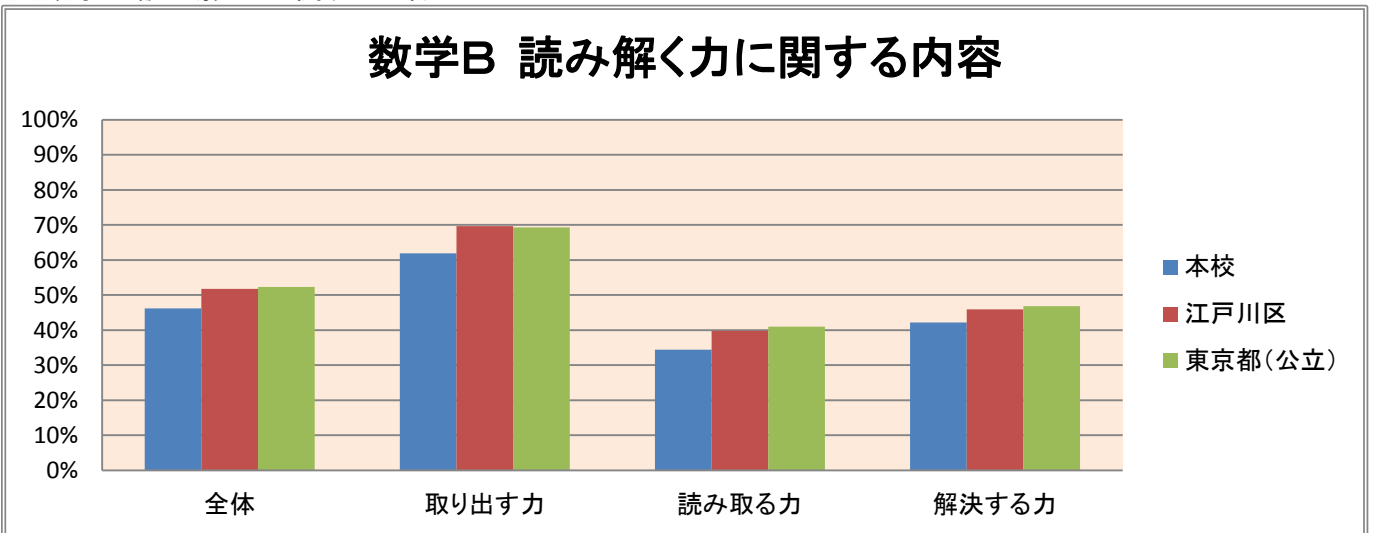
1. 分類ごとの平均正答率

(1)数学A:教科の内容



・すべての観点で東京都より下回っている。特に「思考・判断・表現」が9.45ポイント下回っている。  
 ・生徒の「やる気」を大切にし、思考を育めるメソッド「アインフォーミング」により、自主的「思考力」の向上を図る。  
 作図や式の組み立てなど根気よく取り組むように支援していく。

(2)数学B:読み解く力に関する内容



・すべての項目が、東京都平均正答率を下回っている。  
 ・根気よく解答に取り組むよう支援をしていく。演習を繰り返し、問題に慣れさせていく。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

【数学】

- 1 文意に適した演算決定ができること。 正答率:46.8%
- 9 文字を使って長方形の周りの長さを表す式を作る事。 正答率:48.6%
- 13 式から、その考え方を表す図と説明を選ぶこと。 正答率:47.7%
- 14 座る人数の求め方を表す式を完成させること。 正答率:22.9%
- 15 5枚ずつ分けると18枚余ることをもとに、折り紙の枚数を表す式を作ること。 正答率:41.3%
- 16 上記問題とは違う数量を文字とした時、1次方程式を作ること。 正答率:11.0%
- 17 作図の基本について理解していること。 正答率:45.9%

18 辺の垂直二等分線や角の二等分線を引くことができること。	正答率:17.4%
20 円錐の体積を求めること。	正答率:17.4%
21 円錐の展開図を考えること。	正答率:39.4%
22 円錐の底面の円周と、円錐を転がした時の円周との割合を求めること。	正答率:2.8%
24 グラフや式から2つのエレベーターの距離を読み取ること。	正答率:25.7%
25 グラフや式から、2つのエレベーターが到着する時間を読み取ること。	正答率:29.4%
28 2つの度数分布表から傾向をとらえること。	正答率:43.1%

正答率が50%に満たないものを挙げた。苦手な分野が明確に表れている。